

目標を大きく上回るペース!

単位:人

数値目標 (H27~H31まで)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	年間目標	5年間の目標
新たに農業に就いた人 (新規就農者定着促進事業の実績)	44	58	34	20	100
新たに起業・創業した人 (商工業振興事業等の実績)	3	5	3	6	30
新たに雇用された人 (雇用創出事業の実績)	9	0	0	20 ※H29年度で事業完了	100

これまで… **働く場所がないことが課題** → 今は… **働く人を確保できないことが課題**

仕事はあるけど働く人がなかなか集まらないということが起きています。

平成31年度の主な取り組み

農林水産業を中心とした地産の強化を目指して

新規就農者定着促進事業

- 親元就農する方へ最大120万円の給付
- 55歳未満で新たに就農する方へ最大150万円の給付
- 農業後継者への支援として、継承前と後で計100万円の給付
- 就農希望者の相談対応や就農後のフォローアップなどを行います。

初心者でもしっかりサポートが受けられるようになっているんだね!



自伐林業者等育成支援事業

- 小規模林業を行う自伐林業者への技術講習
- 木材の集材や運搬などに必要な林業機械購入費用の補助
- 搬出間伐や作業道を開設するための補助 などを行います。



水産業振興事業

- 間伐材等を利用した人工漁礁の設置によるイセエビなどの水産資源の保全・調査や、漁協や漁業者グループが実施する水産振興に係わる事業に対して支援します。

⇒詳しくは… 農林水産課 ☎22-3113

園芸用ハウス整備事業

- 新規就農者や、農業経営の規模拡大、生産性の向上を図る方などにレンタルするハウス本体や附帯設備に関する費用を農業協同組合へ補助します。

ハウス栽培などの施設園芸は農地が少なくてもできて比較的安定した収入が得られる農業なんだよ。



この町の経済の拡大を目指して

商工業振興事業

- 創業に必要な施設整備の初期投資に対する支援
- 空き店舗の活用や起業・創業活動に対する支援
- 中小企業者などへの支援 などを行います。



⇒詳しくは… にぎわい創出課 ☎22-3281

地産外商推進事業

- 町内外で四万十町商談会を開催したり、町外で催事を開催したりするほか、日本百貨店に四万十町コーナーの設置も予定しており、豊富な地域資源を生かした地産外商を推進することで、町の経済の拡大を目指します。 ⇒詳しくは… にぎわい創出課 ☎22-3281

企業立地等促進事業

- 町内への企業立地や規模の拡大を進めることを目的に、一定規模の立地や増設、雇用の確保に努めた企業の固定資産税を一定期間減免して、経営の安定化を支援します。

⇒詳しくは… にぎわい創出課 ☎22-3281

地域まるごと6次産業化推進事業

- 地場産業振興センター「あぐり窪川」の隣接地に豚まんなどを増産するため新加工場を建設し、豊富な地域資源を活用した商品ブランドとして高い付加価値を付け、生産性の向上による販売額の増加とともに雇用の場の創出などを目指します。 ⇒詳しくは… 農林水産課 ☎22-3113

働く人が減っているという新たな課題を解決するために… **働く人の確保と人材育成を進めています**

人材育成推進事業「四万十塾」

地域イノベーター養成講座の開設や、ビジネスプランコンテストを開催し、起業・創業機会を支援するとともに、若者が集う交流・活動の機会を創出します。

人材育成推進事業「産業振興塾」

地域課題解決の仕組みづくりを自ら学ぶ機会を提供し、産業の担い手や地域リーダーの創出につなげます。また、町内の事業者などに対して、中核人材の育成・確保に向けた取り組みを支援します。

⇒詳しくは… 人材育成推進センター ☎22-3163

社員研修促進事業

職業能力の開発・向上および職業経験の不足の解消を図り、雇用の安定を促進するため、町内の事業者が実施する研修などにかかる費用を補助します。(詳しくはP16をご覧ください)

来月号では、
②住む場所、集まる場所をつくる
③子育てしやすい町にする
ための取り組みを紹介する予定です。



今から26年後の2045年には、今と比べて約8,000人※がこの町からいなくなっているという予測が出されています。

※出生と死亡による増減と、転入と転出による増減の合計数

少子高齢化により急激に進む人口減少

自分たち、この町には**こんな影響**がでできます。

お店や銀行が
無くなる
(地域経済の規模縮小)



介護保険料が
高くなる
(社会保障費等の負担増加)



道路の整備が
行き届かない
(日常を支える機能の低下)



街路灯や集会所の
維持費用など、1人
あたりの出費が増える
(集落機能の低下)



このままではこの町で生活ができなくなってしまう…
そうなるとうまく人はいなくなる…

そうはさせない!

急激な人口減少を止めるためにこの町が立てた**戦略**が

四万十町 まち・ひと・しごと創生総合戦略

1 地域の特性を生かした雇用を創出する
つまり… **ここで働く環境をつくる**

今回紹介するのはこれ!

2 四万十町へ新しい人の流れをつくる
つまり… **住む場所、集まる場所をつくる**

5月号で紹介予定

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
つまり… **子育てしやすい町にする**

5月号で紹介予定

4 時代に合った地域をつくり、安心して暮らせる町にする
つまり… **安心して暮らせる町にする**

6月号で紹介予定

この戦略は平成27年度～平成31年度にかけて、5か年の計画となっており、今年度は最後の取り組みの年であり、来年度からの新しい戦略を立てる年にもなります。

今月号の特集から6月号にかけて、この戦略によりこの町がどうなっているのか、また、この戦略を実現させるための今年度の町の主な取り組みを紹介していきます。

今のこの町、自分たちは何をすればよいのか、これからの自分たち、この町にはどのような戦略が必要なのかをこの町のみんなで考えていきましょう。



特集

町のいじりは自分のいじり。自分のいじりは町のいじり。

くこうで働く場所をつくるために